

全国美術館収蔵品サーチ「SHŪZŌ」 ロードマップ



<https://artplatform.go.jp/ja/resources/collections>

2018

データベースシステムの基礎構築



事業の指針を策定し、美術館等施設へ情報提供依頼を開始。**日本近現代美術作品**から収録を開始。サムネイル画像公開の実現。近現代美術作品を所蔵する美術館等施設（推定**375館***）のうち約4割、**165館**の収蔵品情報を公開。

*文部科学省社会教育調査、日本博物館協会・全国美術館会議会員館名簿等を参考にし、全国536館の美術館等施設リストを作成した。そのうち約7割の美術館等施設が近現代美術作品を所蔵すると仮定して算出した。

成果



165館
(推定375の4割)



約16万件



約10%

2023年3月末時点

2023

全国的美術館が収蔵する国内外の近現代美術作品を幅広くカバー

国外近現代美術作品の公開に着手（予定）。近現代美術作品を所蔵する美術館等施設（推定**375館***）のうち約8割、**300館**の収蔵品情報公開を目標。

目標



300館
(推定375の8割)



約30万件



40~50%

2024年5月時点

美術館等施設
198館

収蔵品
約28万件

画像
14%

2028

恒常的な運用へ、画像の更なる拡充

日本国内の登録博物館、博物館指定施設等の増加を見込み、収録施設を段階的に拡大。**画像の充実**と**安定的な情報更新体制**の確立。国指定文化財のうち近代以降の美術工芸品へのデータアクセス実現。

目標



375館
(推定のほぼ
100%
+新規指定施設)



約37万件



70~80%

フェーズ
3

2035